



M3型ユニット中量棚 (扉 / アクリル窓付扉 連結ユニット)

M3U7365SRB (W900) / M3U7465SRB (W1200)

M3U7365SAB (W900) / M3U7465SAB (W1200)

組立・取扱説明書

トラスコ中山の製品をお買いあげいただきありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この「組立・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい組立とご使用をお願いします。

組立・取扱上の注意

1. 付属のアジャスターで必ず棚の水平・垂直のレベルを正確に調整してください。
 - ・調整をおこたりますと、棚ががたついたり、扉が歪んで開閉ができない場合があります。
 - また、3段引出しやパンチングパネルのスムーズな出し入れが出来なくなる場合があります。
2. アジャスターのロックナットはレベル調整後、必ず締めてください。
 - ・締め忘れますと、棚の積載物の荷重により裏面のナットの溶接が外れる場合があります。
3. 組立のネジは確実に締めてください。
 - ・締め忘れや不十分な締め付けは、棚の傾きや部品の脱落等が起こり危険です。
4. 扉の開け閉めは丁寧に行ってください。
 - ・力まかせの開閉は変形や破損の恐れがあります。
5. 各棚は、許容荷重以上の積載はしないでください。
 - ・棚の変形や破損が生じ、積載物が落下する恐れがあり危険です。
6. 製品の清掃は、中性洗剤などをご使用ください。
 - ・ラッカーシンナー等の溶剤を使用しますと、塗装の剥がれやアクリル窓の割れを生じます。

梱包内容

組み立てる前に必ず梱包内容を確認し、不足のある場合はご購入のトラスコ販売代理店にお問合せください。

※ 組立用のネジ類は必要とする部品の梱包内に同梱されていますので、紛失しないように小箱に集めておくとう便利です。

■支柱 H2100 - 2本 (アジャスター座付き)



■ビーム W900 / W1200 - 4本



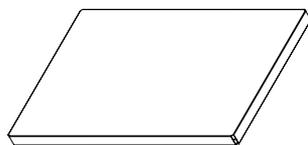
■棚受 D600-8本



■天受 D600-2本



■棚板 W900 / W1200 × D600 - 5枚



■扉 / アクリル窓付扉 W900 / W1200 × H2100 L - 1枚

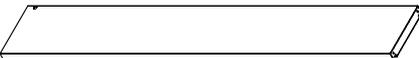


■扉 / アクリル窓付扉 W900 / W1200 × H2100 R - 1枚



鍵2本 扉の裏面に貼り付けています

■背板 R W900 - 2枚 / W1200 - 3枚



■背板 L - 1枚



■部品セット

カマチ W900 / W1200 - 2本



上フタ中 - 1本



アジャスター - 2個



ロックナット M16 - 2個



支柱裏板ナット - 2個



ドリルネジ 3.5 × 10 W900 - 4個
/ W1200 - 6個



穴キャップ - 1個



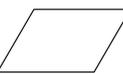
M6 セムスネジ - 8個



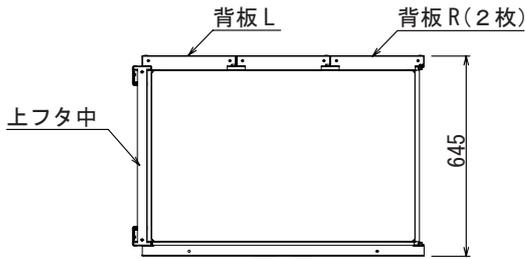
ナイロンワッシャー - 2個



組立・取扱説明書 - 1部



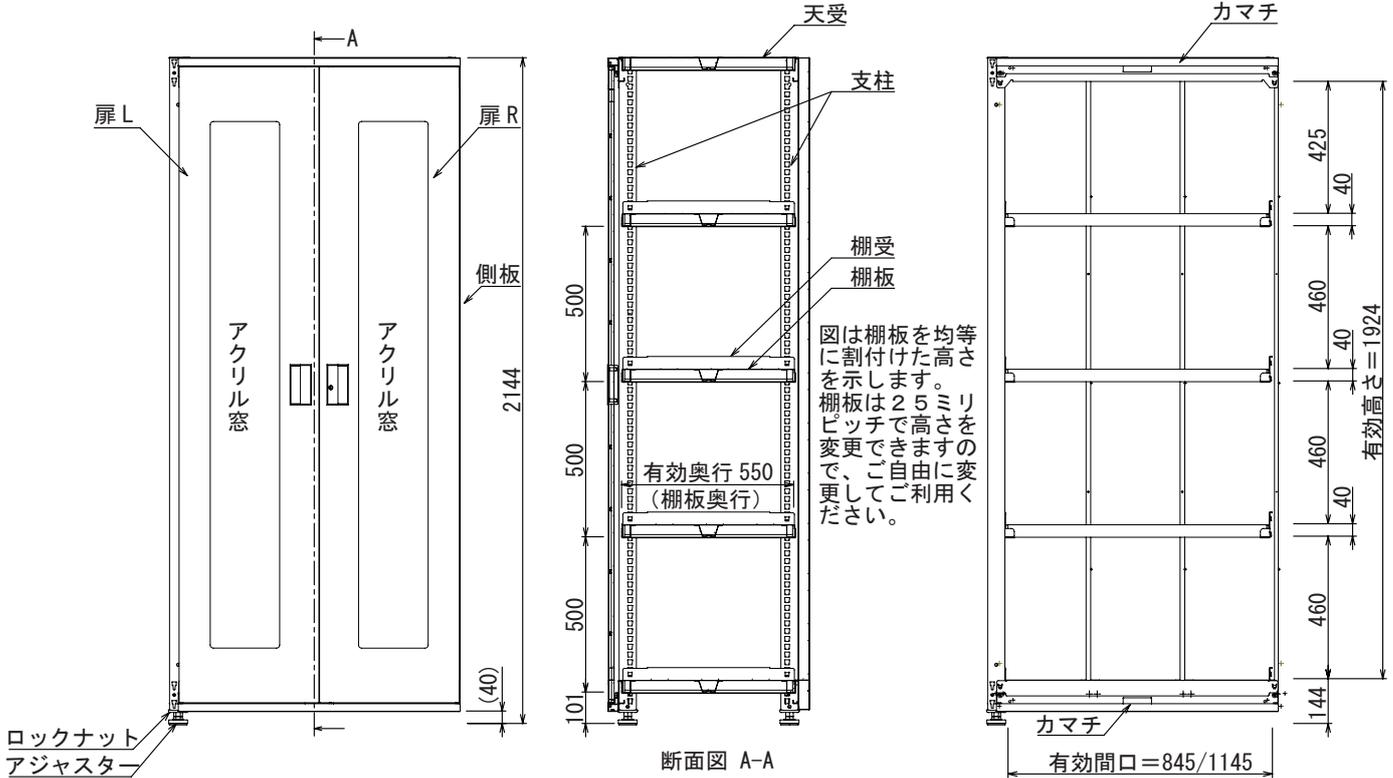
姿図



※ 図はアクリル窓付扉を示します。

※ 連結ユニットを利用して連続の棚を組立てた場合の全幅計算式
=900×ユニット数+60

棚板 1 段の均等耐荷重=300 kg



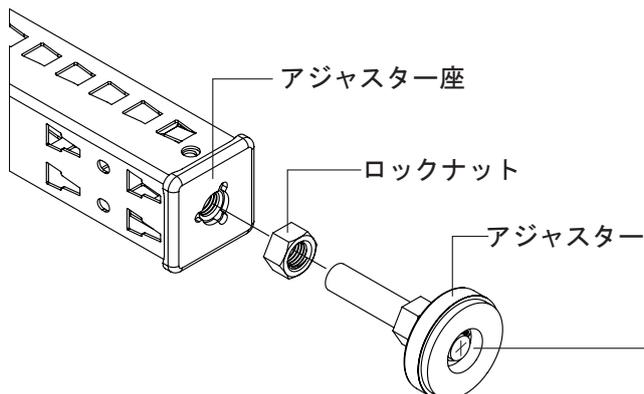
組立に必要な工具

■ 組立時には下記の工具が必要です。前もって準備しておきましょう。

- ・ 十字ドライバー（電動式が便利です）
- ・ プラスチックハンマー
- ・ コンベックス
- ・ スパナ（幅 24 ミリ）
- ・ 水平器
- ・ 脚立

1 アジャスターの取付

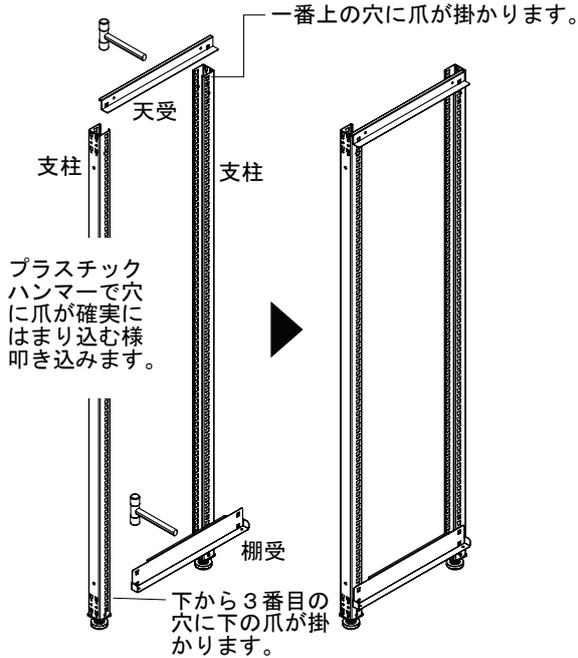
■ アジャスター座にアジャスターとロックナットを取付けます。



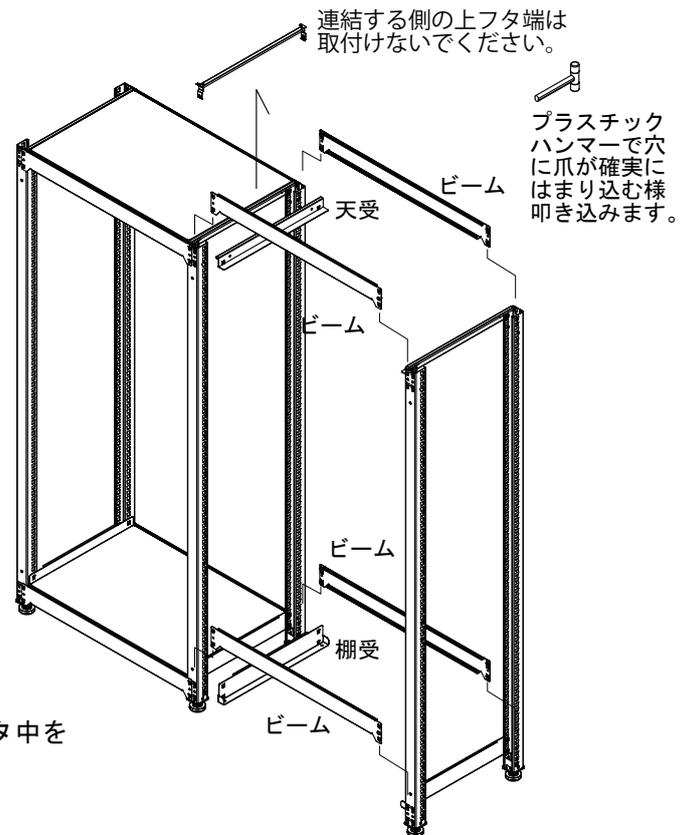
十字穴がありますのでドライバー等の工具で最後まで回し込み取付けてください。

2 連結フレームの取付

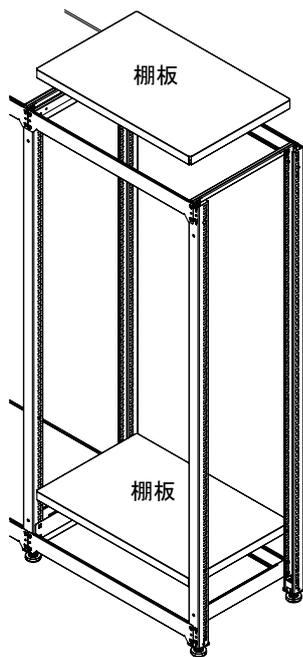
① 支柱と棚受、天受で枠を作ります。



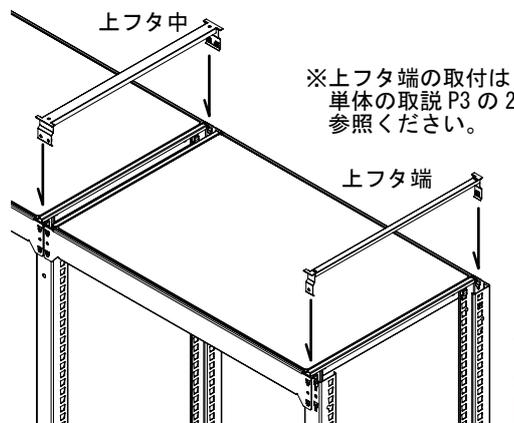
② 単体のフレーム（単体の取説2まで状態）に天受棚受を取付け、①で作った枠をビームで連結します。



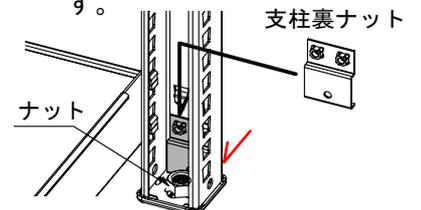
③ 天地に棚板を入れます。



④ 上フタ端と上フタ中を取付けてください。



⑤ 支柱裏板ナットを前後の支柱の内側に差し入れます。



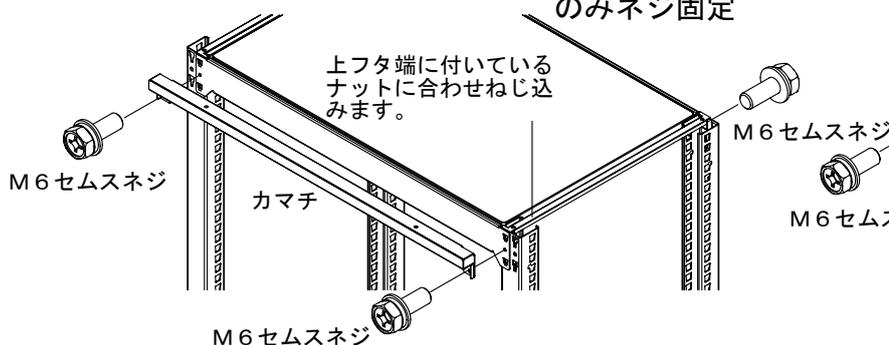
※支柱裏ナットがアジャスター一座のナットに乗って入らない場合は図の赤矢印方向にアジャスター座をプラスチックハンマーで叩き、隙間を開けて差し込んでください。

3 カマチの取付

■ 3以降の組立は単体ユニットの組立と同じです。

■ カマチを上下のビームに取付けます。

上



＜注意＞

背面上は前後左右4カ所ネジ固定してください。

下

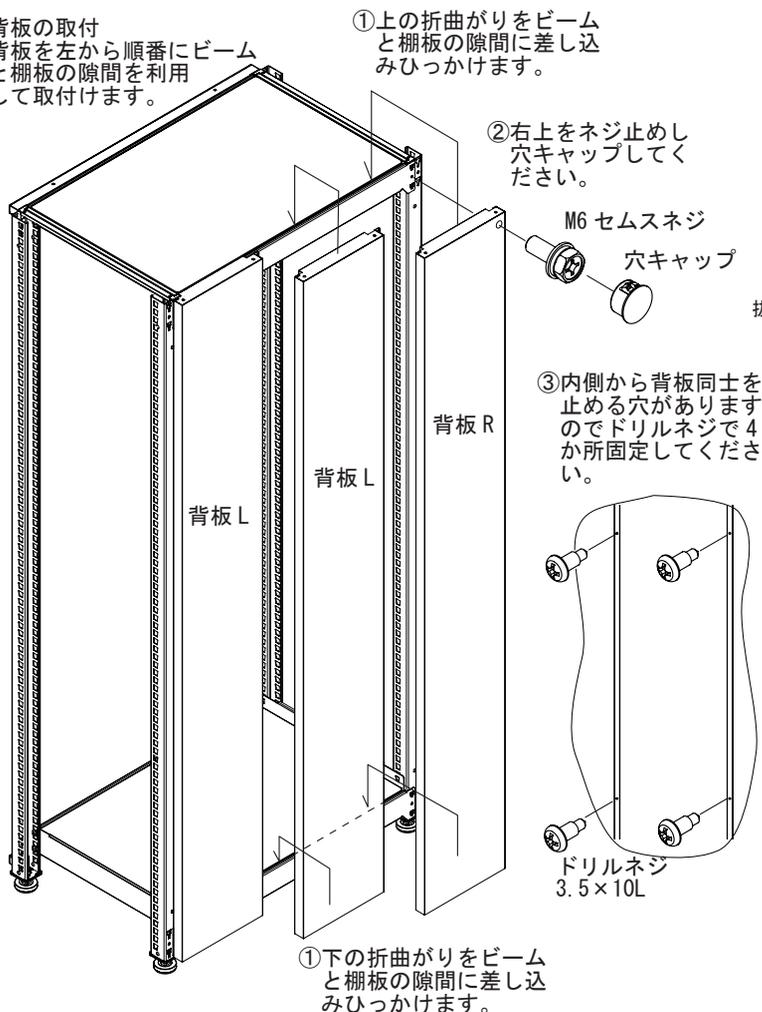


4 背板と側板の取付

※壁に添わせて設置する場合は、後で背板や側板の取付が出来ませんので、添わせる側の背板や側板を先に取付けてください。

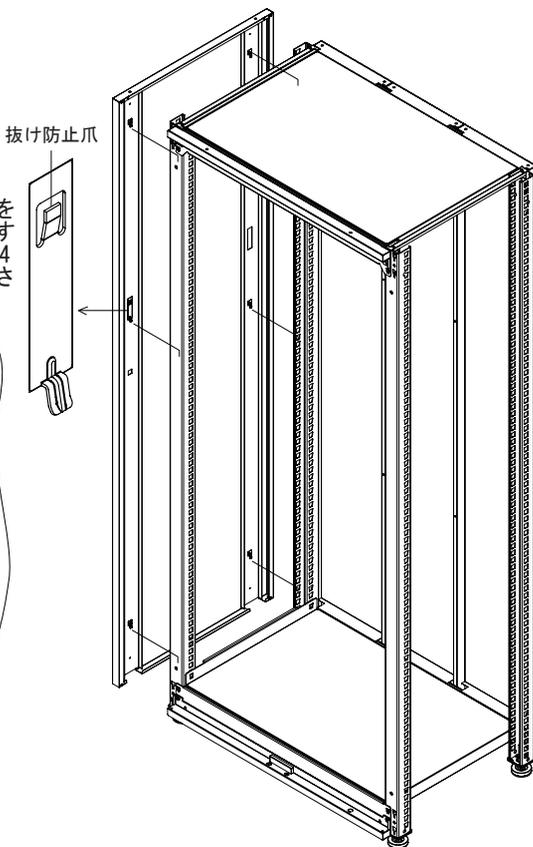
■背板の取付

背板を左から順番にビームと棚板の隙間にビームと棚板の隙間を利用して取付けます。



■側板の取付

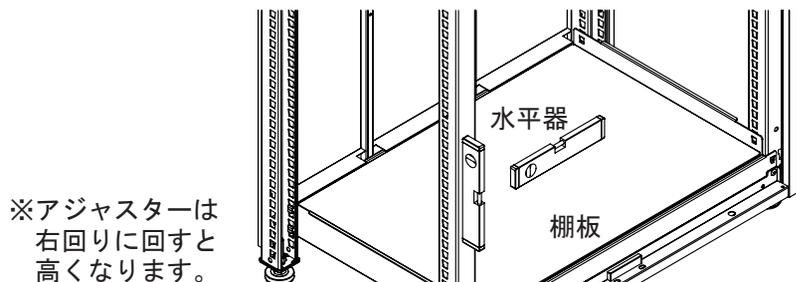
側板の爪を支柱の穴に引っ掛け取付けます。天面の面を支柱より10ミリほど上に上げて差込みます。下を足先で持ち上げながら行うと楽にできます。穴の段を間違えて取付けたときは、抜け防止爪を押して抜いてください。再度取付の時は、抜け防止爪を起こしてください。



5 設置場所に置きレベル合わせ

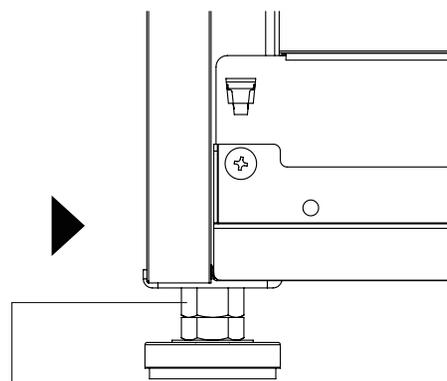
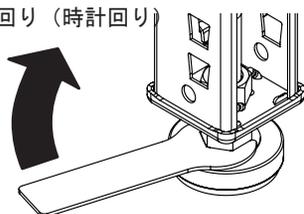
■所定の場所に移動させて棚のレベル合わせを行います。

水平器を棚板の上に置き、傾いている方のアジャスターを高くします。左右、前後、斜めとまんべんなく水平を図り調整します。支柱の垂直も測定し、傾いている場合は先にカマチを止めたネジを緩め傾きを矯正してください。矯正後は必ず緩めたネジを締め直してください。



※アジャスターは右回りに回すと高くなります。

右回り（時計回り）



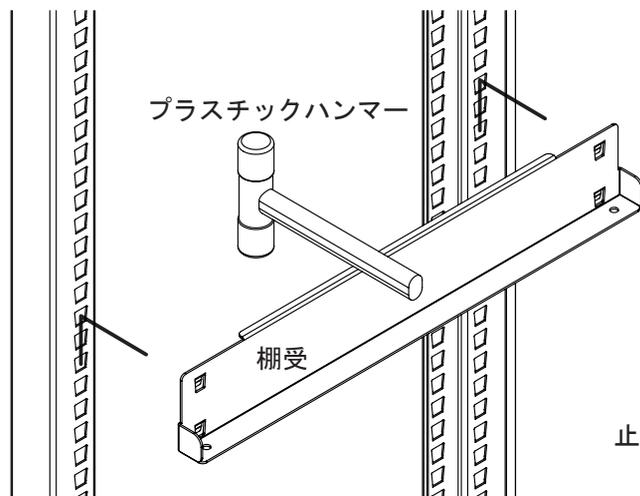
レベル調整後、ロックナットを左に回して必ずアジャスター座を締め付けてください。おこたりますと、アジャスター座のナット溶接部が荷重で外れる恐れがあります。もし外れた場合は、ロックナットを棚が水平な位置まで回して締めて固定してください。アジャスターを回転させないで行うと復旧が可能です。

6 棚受と棚板の取付

姿図を参考に棚板を取付けてください。姿図は均等分割配置ですので、収納する物に合わせてご自由に高さを変更してください。棚の高さは25ミリピッチで変更が可能です。

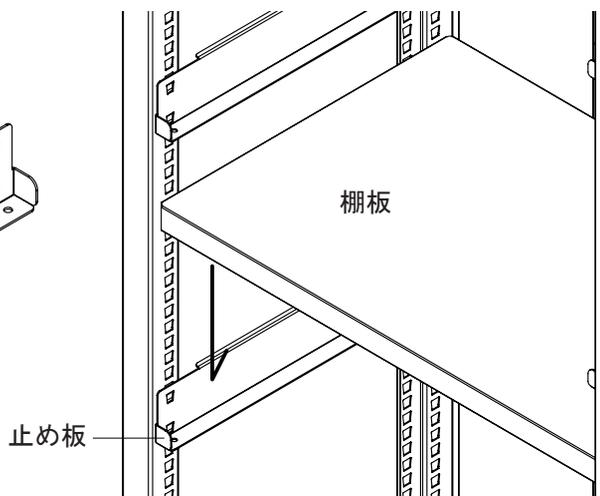
■棚受の取付

棚受の爪を支柱の穴に差し込み、プラスチックハンマーで叩き込んで固定してください。



■棚板の取付

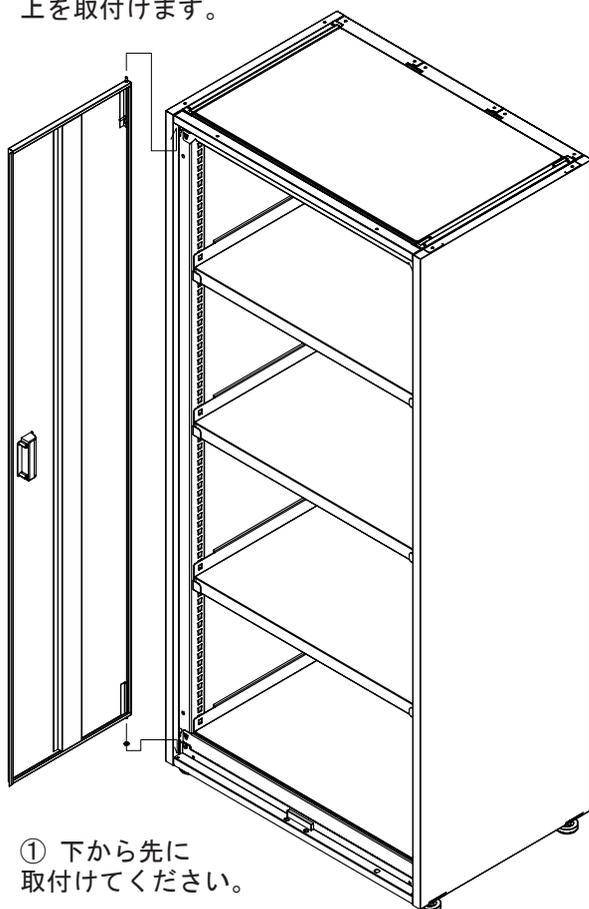
棚板を差し込み、棚受けの止め板の内側にはめ込みます。



7 扉の取付

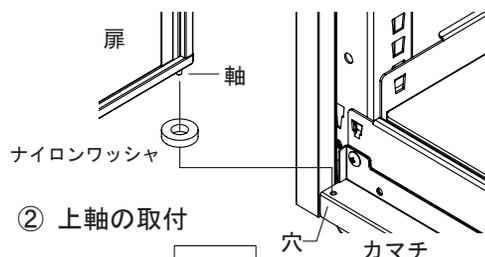
左の扉から先に取付けてください。右扉も同じように取付けます。

- ② 下を取付けた後に上を取付けます。

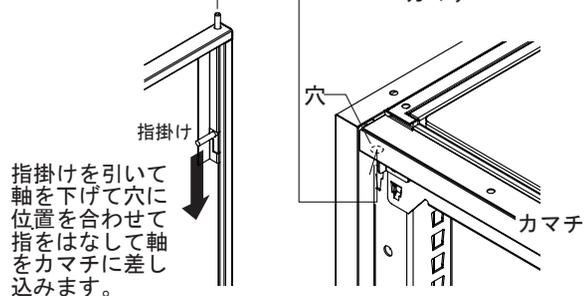


- ① 下軸の取付

軸にナイロンワッシャを差し込み、カマチの穴に軸を差し込みます。

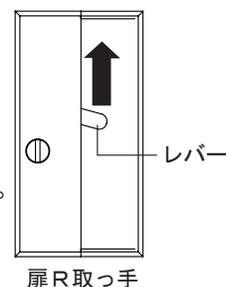


- ② 上軸の取付

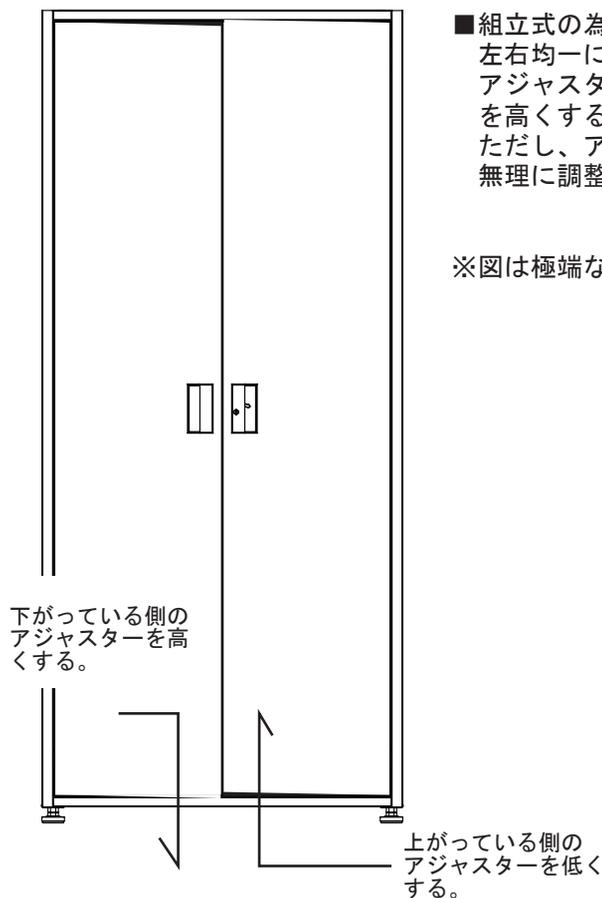


■右扉のロック

右扉を開いた状態でレバーを押し上げるとカンヌキ棒が引っ込みロックされます。扉を閉めると、自動的にカンヌキ棒のロックが解除されカンヌキ棒は飛び出し扉は自動ロックします。扉を開ける時は、レバーを押し上げ開きます。



8 扉の目地調整



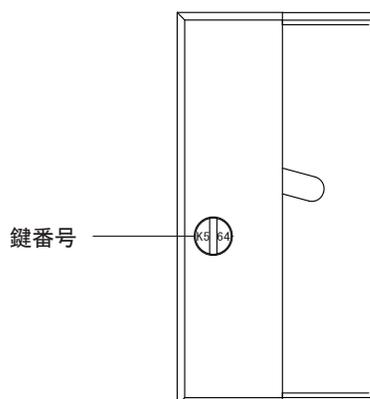
■組立式の為、扉を取付後に扉が図の様に傾く場合があります。左右均一にしたい場合は、戸当たり部分が上がっている方のアジャスターを低くするか、下がっている方のアジャスターを高くするかで調整してください。ただし、アジャスター調整で棚ががたつき安定しない場合は無理に調整を行わないでください。

※図は極端な傾きを示しています。

※図は極端な傾きを示しています。

9 扉の鍵の取り扱いについて

■扉の鍵は予備を含め2本付属しています。予備の鍵は紛失しないように別途保管してください。もし2本とも紛失した場合は、取っ手の鍵を差し込むシリンダー表面に番号が刻印されていますので、ご購入の代理店に番号を報告し有料にてご入手してください。



総発売元

トラスコ中山株式会社

<https://www.orange-book.com/>

お客様相談室



0120-509-849

E-mail: techno.center@trusco.co.jp

MADE IN JAPAN

202112